

熊本の“いま”を読む地域経済情報誌

くまもと経済

C 表紙の人
Cover Story

藤本 祐二 ARIAKE 社長
測量設計で良質な社会基盤整備に貢献

1 2025
月号

VOL.523

必読
業界・分野トップに聞く熊本の明日

熊本展望

創る 2025 新しい熊本へ

新春グラビア

広告企画

新春誌上名刺交歓／熊本学園大学同窓会・志文会特集

TSMC第1工場／人吉・球磨復興／県内工業団地
熊本駅周辺／下田南バイパス／熊本マンガーツ

VUCAの時代生き抜く人材を育成

25年4月、新カリキュラム開始

小野 長門 崇城大学学長

第3期中長期計画を推進

—現在の大学の状況は。

小野 24年度の入学状況は定員740人に対し、751人の学生が入学しました。学生数は24年11月時点で5学部9学科に3577人、大学院に137人在籍しており、そのうち62人が留学生です。現在は国内に約600ある私立大学の59・2%で入学定員割れが起きていますが、そのような状況下で今年度も入学定員を充足できたことは喜ばしいことです。周知のとおり、全国的に少子化が進み、特に地方にある中小規模の私立大学の学生数が減少しています。今後はより一層学生募集に力を入れていかなければなりません。現在、23年度から28年度まで6年間の「第3期中長期計画」の推進に取り組んでいます。この計画に基づいてさまざまなアクションプランを策定し、改革を進めています。中でも注力しているのが教育の実質化を図るためのカリキュラム改定です。「ポストAI時代の知の拠点を見据えて」をキーワードに、AIでも模倣できない創造力やレ

シリエンズ(柔軟性)などを身に付けた専門家を養成し、予測困難なVUCA(不安定、不確実、複雑、不明瞭の英語頭文字)の時代に生き抜く力を備えた人材輩出を目指した教育改革を進めており、25年度から全学的に新たなカリキュラムが始まる予定です。ただし、薬学部については今年度から先行して新カリキュラムを開始しています。

—具体的にどのようなカリキュラム改定を。

小野 理文が融合型のリベラルアーツ教育を導入し、アントレプレナーシップ(起業家精神)を育成するカリキュラムや実践的な英語力を高めるカリキュラムなどを再構築しています。加えて、各専門性を深める際に、学科カリキュラムとリンクして教養から専門へ系統的に知識が身に付くだけでなく、実践的な能力も身に付けられる「3次元カリキュラム」を目指しています。一方で、産学官連携も強化します。現在52の企業、地方公共団体、大学などと協定を結んでおり、共同研究や技術交流、企業と連携した課題解決型教育を進めています。今後は企業か



▲11月1日に平田機工(株)と連携協定を締結したことを受け、12月9日に開いた記者会見で撮影に応じる平田雄一郎平田機工(株)社長(左)と小野長門学長

ら講師を招いた先進的な授業や、学生が企業に出向いて経験を積むような授業もカリキュラムに組み込み、実践力の豊かな専門人材を育成したいと考えています。その一環として、11月1日に平田機工(株)と連携協定を締結しました。共同研究や学生のインターンシップの受け入れ、各種セミナーの開催などで、企業と大学双方に利益のある関係を築きたいです。これから先も積極的に企業の参画を促し、将来に向けて人材育成が進む仕組みを整えたいと考えています。

—英語教育にも力を入れていきます。

小野 はい。話すことに重点を置いたアクティブラーニングを重視しており、今回のカリキュラム改定でも実践英語力の強化につながる見直しを行っています。

—今後の展望は。

小野 先述のように少子化が急激に進み、私立大学の運営は難しくなっています。その中で健全な大学運営を維持していくためには、本学独自の魅力や優れたブランドをつくり、学生満足度と共にステークホルダーからの信頼度を上げていかなければなりません。

また、地域の知の拠点として、人材育成を含め、教育研究活動で得られた成果をいち早く地域社会に還元しなければなりません。加えて、高校生が注目するような新しい学部や学科の開設も必要です。将来的にはデータサイエンスなど理文融合の学部・学科の新設や、既存の学部・学科を世の中のニーズに順応した編成に改組するなど、斬新なアイデアも取り入れながら本学を進化させていく考えです。今後も第3期中長期計画に基づいて、さまざまな改革を推進していきます。(山岸千紘)



おの ながと/玉名市出身、1959(昭和34)年10月26日生まれ、65歳。82年防衛大学校理工学部機械工学科卒、91年東京工業大学大学院理工学研究科金属工学専攻博士課程修了。92年熊本工業大学工学部機械工学科助手、03年米国ワシントン大学機械工学科客員研究員、05年崇城大学工学部機械工学科教授、11年工学部長、12年(株)君が淵学園評議員、18年副学長・大学院工学研究科長・(株)君が淵学園理事、23年10月学長

本学の英語学習施設「SILC(シルク)」には外国人教員を17人擁し、コミュニケーション型の英語を学ぶことができます。さらに、自律学修センター「SALC(サルック)」も併設しており、学生の自主的な英語学習を支援していますし、就職や大学院進学にも有用なTOEIC試験対策のアドバイスをするなど、ハイレベルな英語力を磨けるようにしています。

—第3期中長期計画の目標は。

小野 これまでに述べた教育改革による「社会の変化に柔軟に対応できる人材の育成」に加え、「地域社会への貢献」と「大学運営基盤の強化」を進めています。社会を支える人材を輩出することが大学の主な役割です。

JASMに15人内定

—今年度の就職状況について。

小野 11月時点で大学4年生の8割強が内定をいただいている

し、少子化が進む中でも学生を確保し、良い教育と研究をして社会に貢献していかなければなりません。

また、大学運営の安定のためにも、一定数の学生を確保することは最重要課題ですので、そうした優れた教育研究活動を高校生に周知し、本学で学修したいと思ってもらいたいです。シームレスな高大連携の推進や教員による質の高い研究などで、良い教育が提供できるようにしていきます。

ます。学部によつて就職状況に差はありますが、そういった状況を考慮しても本学の就職内定率は全国平均を上回り、順調だと考えています。

その中で、半導体関連企業には主に機械工学科、ナノサイエンス学科、情報学科から内定者が出ています。今年度も菊陽町に進出した台湾積体回路製造TSMCの生産子会社であるJASMには15人が内定しました。

—半導体人材育成についての考えは。

小野 現時点では特に半導体関連の学科を新設する考えはありません。従来から機械工学科やナノサイエンス学科、情報学科では各種エンジニアや生産管理者などを育成していますし、JASMが求めているのも基本的に生産現場に従事する人材です。今後もこの3学科を中心に半導体関連人材を育成していきます。

もちろん、横断的な履修プログラム教育や産学連携を進め、半導体関連の企業でも通用する人材を育てていきたいと思っています。23年度にはこれらの3学科で連携して半導体人材育成ワーキンググループを発足し、